



どーしても 納得できません！

「都立病院条例廃止案」可決

労働組合員が結束を強め、バージョンUP！！

都民の命を守るのは行政の責任です。この10数年間、「保健所の統廃合阻止」「都立病院を守ろう」の呼びかけに、市民団体や都庁職・自治労連など関連団体と共に一大運動を展開してきました。

しかし、本年第1回定例議会において「東京都立病院条例を廃止する条例」が可決しました。

この都議会の議決に対し、反対署名を頂いた多くの都民と共に引き続き抗議します。

これから、都立病院の職員団体は、そのまま、独法の労働組合になります。

労働組合の第1の目標は、東京都で積み上げた人事給与制度を、独法になっても変わらず維持出来るよう要求する。

第2の目標は、医療環境の目まぐるしい変化によって発生する多種多様の問題に対して、タイムリーかつきめ細かく要求する事です。

東京都からの派遣職種の職員も、独法の労働組合（現労働組合）に加入することができ、今までと同じ労働運動を継続出来ます。

独法になれば、独法理事会との労使交渉になります。交渉力の強さは労働組合の組織力が大きく影響します。

全職員が労働組合に加入して組織力を更に強化しましょう。



新入職員の皆さん！
入都おめでとうございます



戦争反対

だめ！絶対！